

川内川水系流域治水プロジェクト

行動計画 取り組み個表

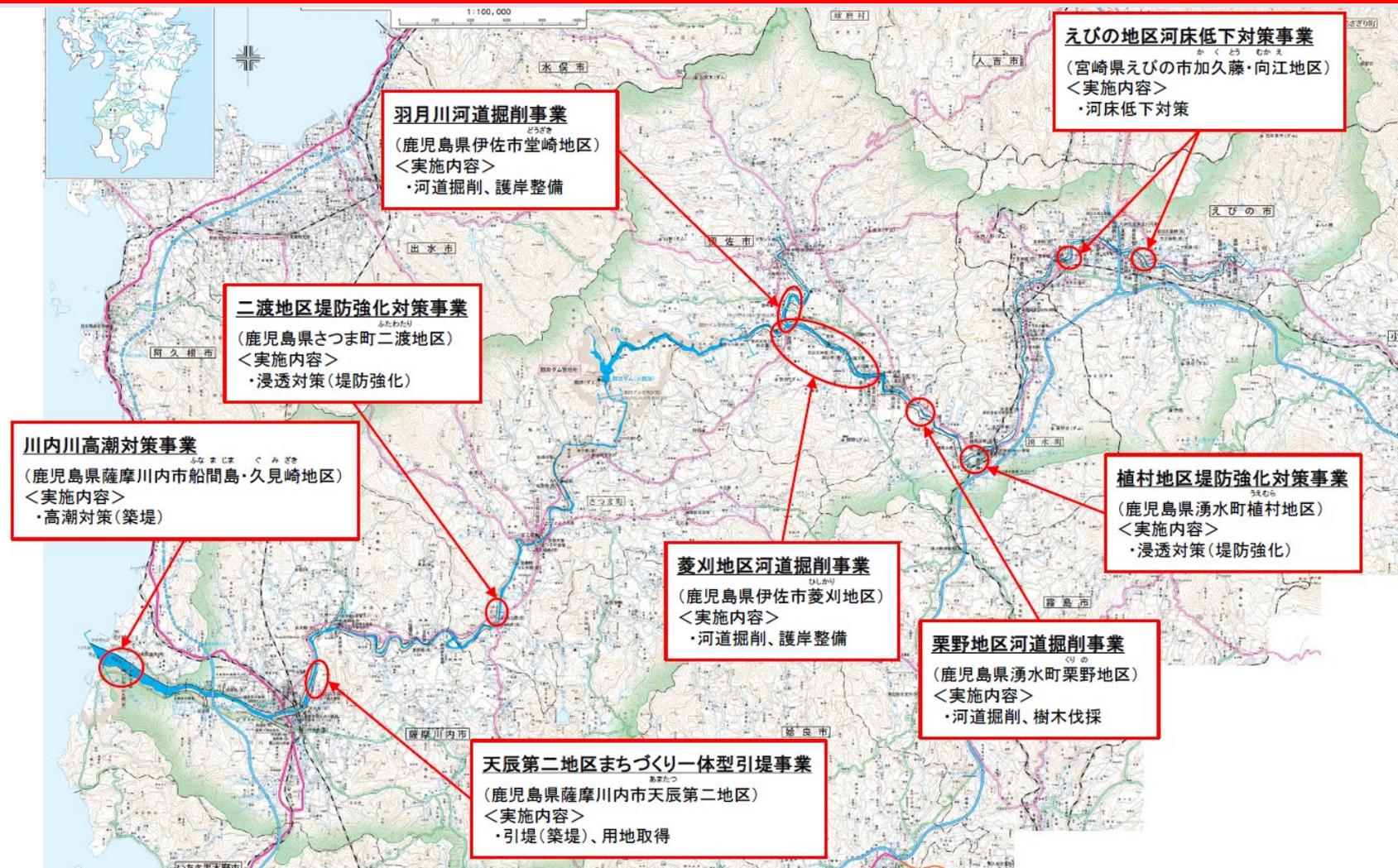
～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

川内川水系流域治水協議会

川内川水系流域治水プロジェクト

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

令和3年度 主な事業実施箇所 【川内川河川事務所】

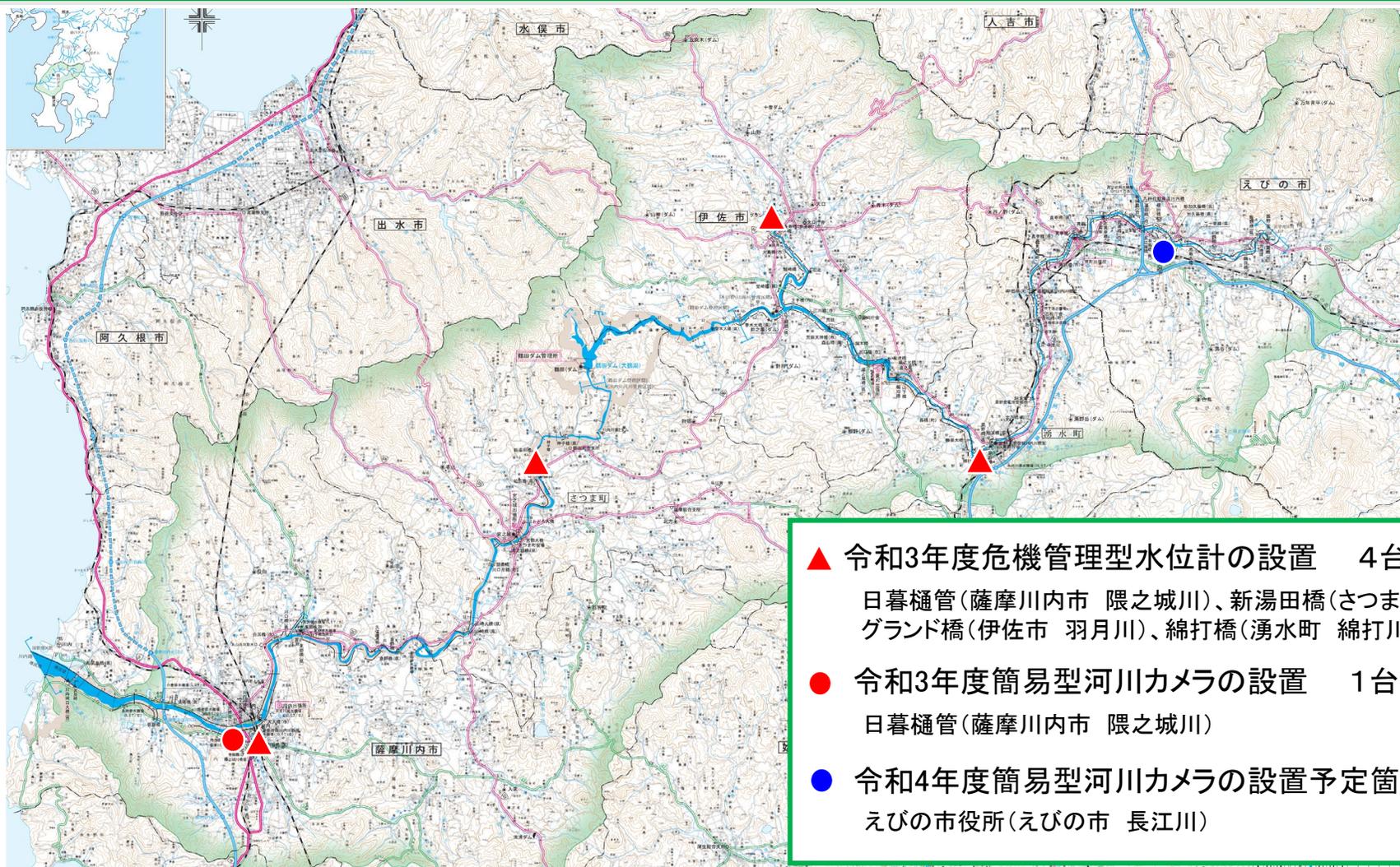


区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削、引堤整備、堤防強化等	川内川河川事務所	▶		

川内川水系流域治水プロジェクト

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

令和3年度危機管理型水位計と簡易型河川カメラの設置 【川内川河川事務所】



- ▲ 令和3年度危機管理型水位計の設置 4台
日暮樋管(薩摩川内市 隈之城川)、新湯田橋(さつま町 川内川)
グランド橋(伊佐市 羽月川)、綿打橋(湧水町 綿打川)
- 令和3年度簡易型河川カメラの設置 1台
日暮樋管(薩摩川内市 隈之城川)
- 令和4年度簡易型河川カメラの設置予定箇所 1台
えびの市役所(えびの市 長江川)

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	水位計・監視カメラの設置	川内川河川事務所			

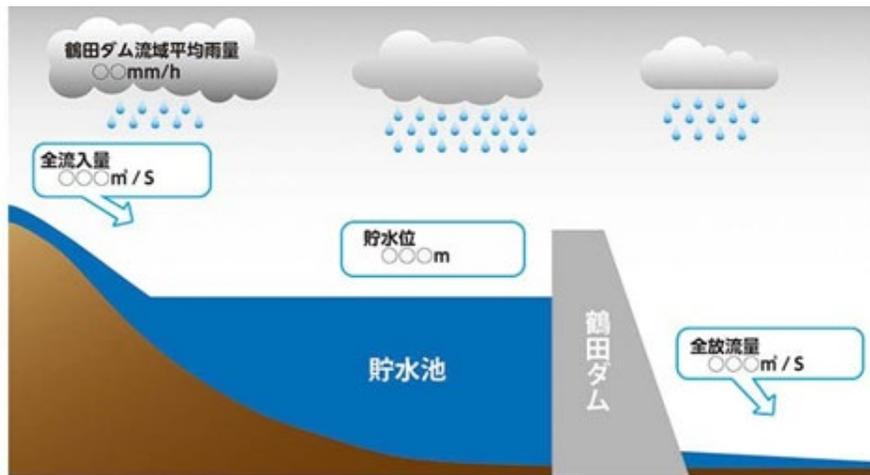
川内川水系流域治水プロジェクト

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

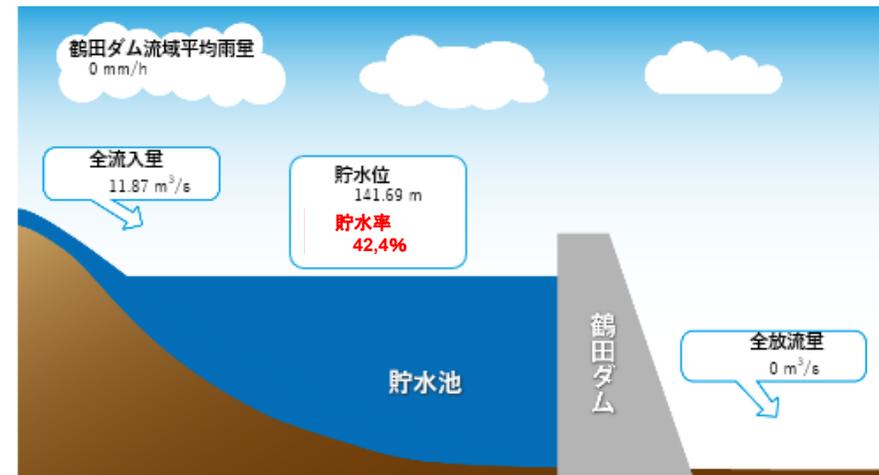
鶴田ダムHPに貯水率を表示 【鶴田ダム管理所】

○鶴田ダムホームページに、新たに『貯水率』を表示できるように改良しました。

改良前



改良後



○情報表示板への貯水率の表示を予定

- ・新たに『貯水率』を表示できるように改良します。
- ・表示開始のタイミングは洪水調節開始から終了まで(緊急放流中を含む)を想定しています。

鶴田ダム情報
洪水調節中

貯水率 **%

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	水位計・監視カメラの設置、防災情報の提供等	鶴田ダム管理所			

川内川水系流域治水プロジェクト

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

出前講座・防災学習の実施 【気象庁】

気象庁 eラーニング教材 「大雨のときにどう逃げる」

- 新しい生活様式での**オンライン学習**に対応(教材は気象庁HPで公開)
- **マイ・タイムライン**の事前学習に最適
- 個人学習だけでなく、自治会や学校などでも活用できる教材
- 難しく考えず、**気楽**に取り組むことが可能

アドレス

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/jma-el/dounigeru.html>



大雨の時にどう逃げる

自らの命は自らが守る

「避難」の基本

身近な災害リスクを理解し、的確な避難行動をとる

「自らの命は自らが守る」
基本の知識を動画で学ぶ

約17分

大雨の時にどう逃げる

個人ワーク

あなたの「避難」

ワークシートを使って避難行動を整理しよう

自分の避難行動を
ワークシートに整理

約30分



大雨の時にどう逃げる

グループワーク

みんなで意見交換

誤解や、疑問、不安を解消しよう

みんなで意見交換して
自分の避難を再確認

約30～40分

1時間の学習にピッタリ

Web会議でも実施できます

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災学習の推進	出前講座・防災学習の実施	気象庁	→		

川内川水系流域治水プロジェクト

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

森林整備による流出抑制対策 【林野庁 九州森林管理局北薩森林管理署】 治山施設整備による土砂流出抑制対策

○ 森林整備事業

人工林の多面的機能発揮のため、国有林の地域別の森林計画に基づき、間伐等に取り組みます。



間伐前後の様子(列状間伐)

○ 治山事業

地域住民の安全・安心等を確保するため、国有林の地域別の森林計画等に基づき、谷止工等の予防・復旧治山に取り組みます。



谷止工設置前後の様子

	3年度実績	4年度予定
間伐 保育間伐	677ha	937ha
新植	66ha	75ha

※事業量は北薩森林管理署、鹿児島森林管理署、都城支署の流域内分です。

	3年度実績	4年度予定
谷止工	8基	8基
山腹工	-	1ha

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	森林整備・保全、治山施設の整備	森林整備による流出抑制対策	林野庁			
		治山施設整備による土砂流出抑制対策	林野庁			

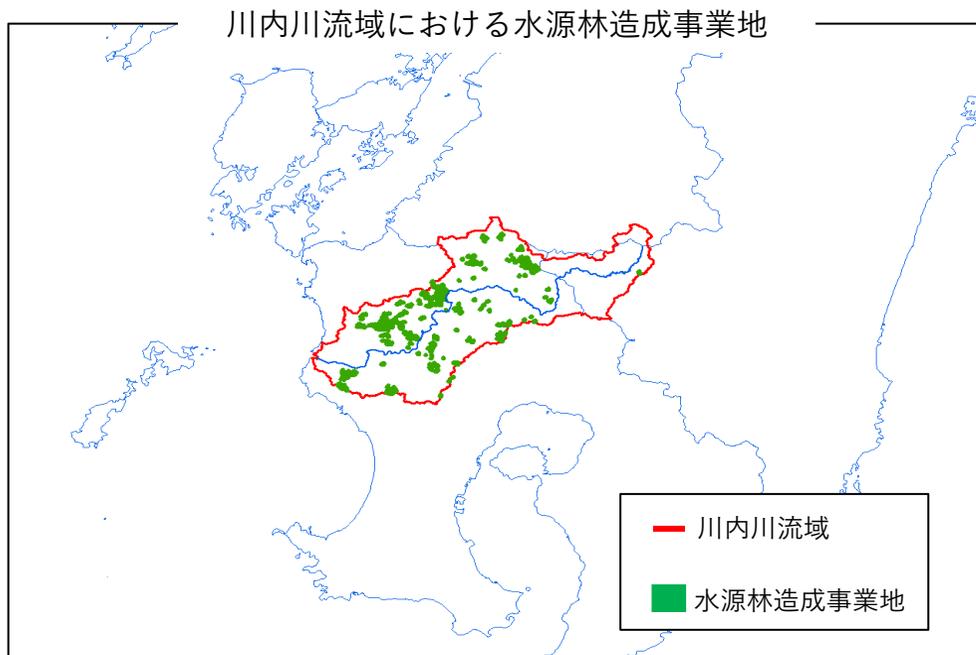
川内川水系流域治水プロジェクト

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

森林整備による流出抑制対策

【森林研究・整備機構 鹿児島水源整備事務所】

- ・水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。
- ・水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。
- ・川内川流域における水源林造成事業地は、263箇所（森林面積 約3100ha）であり、流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施していきます。（令和3年度においては、約123haの森林整備を実施。）



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	森林整備・保全	森林整備による流出抑制対策	森林研究・整備機構	▶		

川内川水系流域治水プロジェクト

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

河川等災害関連事業(行動計画:1-1-1) 【鹿児島県】

- 令和2年7月関係 百次川・勝目川（薩摩川内市），山野川（伊佐市）
- 令和3年7月関係 海老川（さつま町）

海老川(R3.7月被災)

整備内容：堤防嵩上げ、護岸整備 等



浸水状況
(テレビ報道より)

被災状況



百次川・勝目川(R2.7月被災)

整備内容：堤防嵩上げ、護岸整備 等

整備状況(百次川)



整備状況(勝目川)



山野川(R2.7月被災)

整備内容：河道掘削、護岸整備 橋梁架替 等

被災状況



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策等	河川等災害関連事業	鹿児島県	▶		

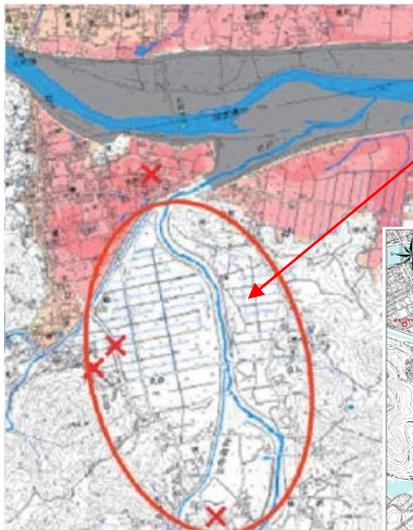
川内川水系流域治水プロジェクト

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

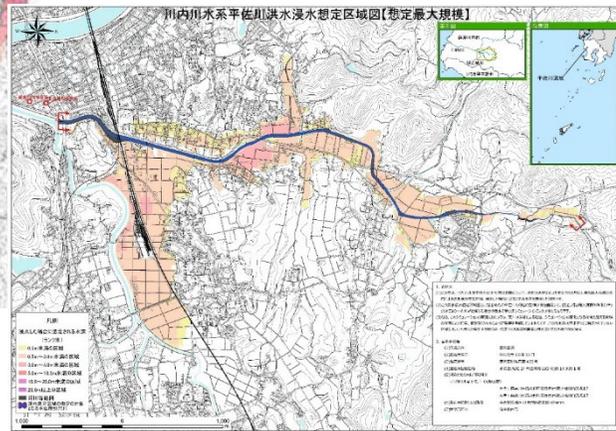
洪水浸水想定区域の指定・公表 (行動計画:3-2-1) 【鹿児島県】

- 令和3年の水防法の改正に伴い、洪水浸水想定区域の指定が洪水予報河川や水位周知河川だけでなく、住家等の防御対象のあるすべての河川等に拡大された。
- 新たに指定が可能となった河川について、洪水浸水想定区域図を作成・公表し、水害リスク情報空白域の解消を図る。

洪水浸水想定区域外で浸水被害があった事例



洪水浸水想定区域の設定がなく、水害リスクが示されていないエリア(水害リスク情報空白域)



浸水想定区域図(仙台河川国道事務所)
赤×印は被害発生位置

洪水浸水想定区域図のイメージ

河川監視カメラの設置 (行動計画:3-3-5) 【鹿児島県】



春田川のカメラ画像(テスト版)
※今年の出水期までの公表に向け準備中※

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地のリスク情報の充実・提供	洪水浸水想定区域の指定・公表	鹿児島県	→		
	防災情報、避難体制の検討・連携強化	水位計・監視カメラの設置	鹿児島県	→		

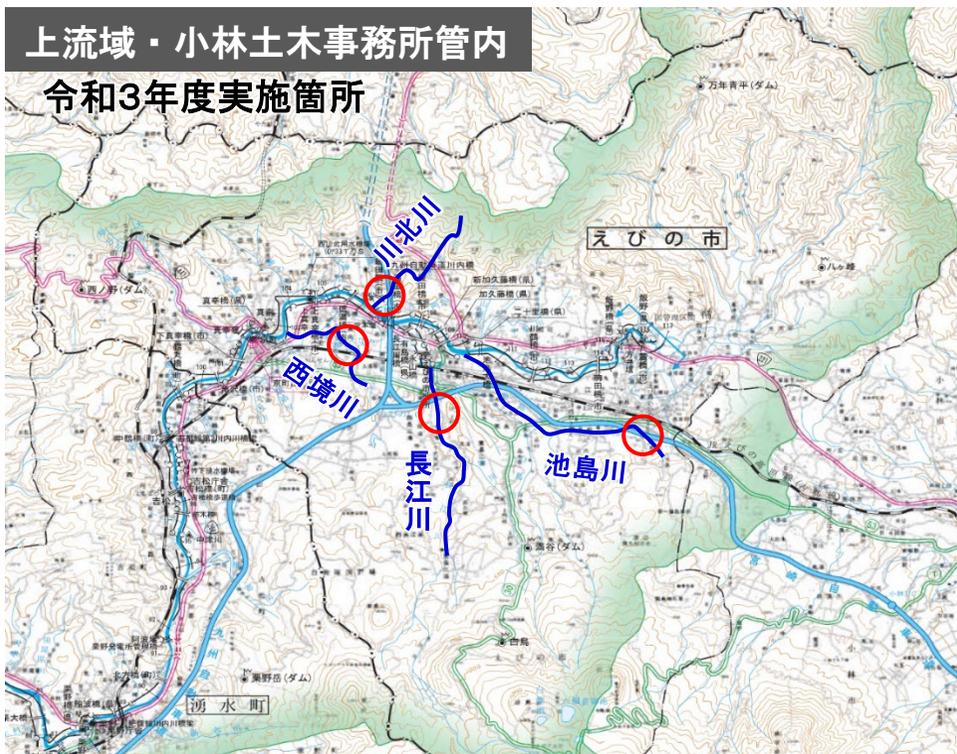
川内川水系流域治水プロジェクト

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

河川整備箇所 【宮崎県】

- 土砂堆積等による流下阻害で洪水氾濫が生じないように、**樹木伐採や河道掘削を実施**している。
- 次年度以降も、他の河川も含め5か年加速化対策において引き続き実施していく。

R3年度実績：【実施河川】4河川 【事業費】約5千万円 【河道掘削】約6.4千m³



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策等	河道掘削、樹木伐採	宮崎県	▶		

川内川水系流域治水プロジェクト

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進 【宮崎県】

○流域における荒廃地域の保全を行うとともに、下流河川の河床上昇を防ぎ、土砂流出による災害から人命等を守ることを目的として砂防堰堤の整備を実施する。

実施地区：斧研谷川2、大河平谷川、永迫谷2
川内川上流域

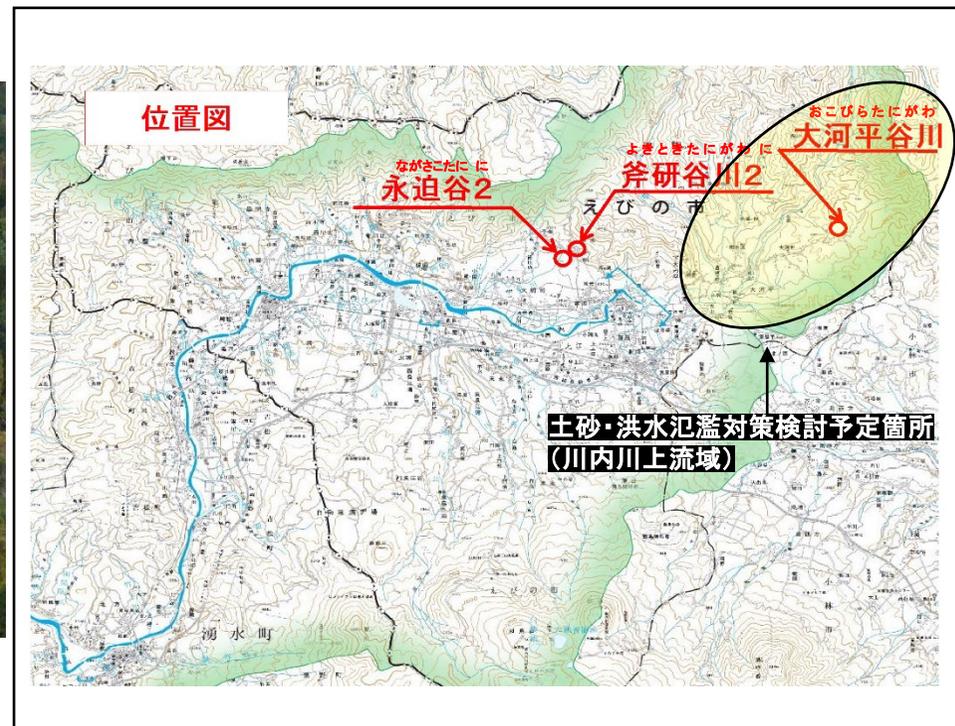
【施工作业イメージ】



全景(上流側より)



【位置図】



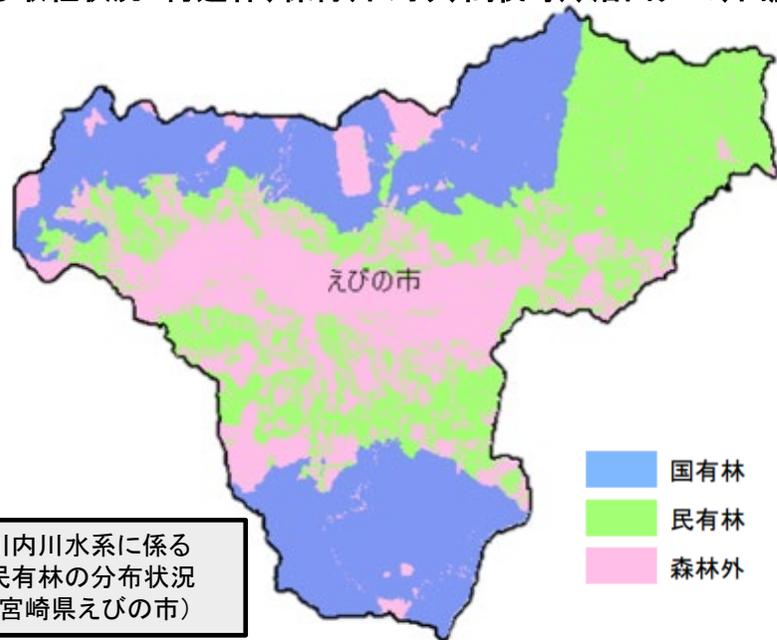
区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	土砂災害対策	いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進	宮崎県	▶		

川内川水系流域治水プロジェクト

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

森林整備による流出抑制対策 【宮崎県】

- 取組名 河川上流域(民有林)における防災・保水機能を発揮させる森林整備・治山対策
- 事業名 森林整備事業・治山事業
- 取組状況 再造林、保育(下刈り、間伐等)、治山ダム、山腹工等



川内川水系に係る民有林の分布状況(宮崎県えびの市)



【川内川流域の森林の状況】(えびの市)

森林面積: 20,235ha
 国有林: 10,811ha
 民有林: 9,424ha

【川内川流域の森林保全・整備の実施状況】

(令和2年度)

再造林: 43ha 溪間工 2箇所
 下刈り: 100ha
 除間伐: 56ha

【流域治水への事業効果等】

(保水機能効果)

荒廃した人工林を間伐することにより、土壌の孔隙量が増え、保水機能が向上する。

(防災・減災効果)

間伐等の適切な森林整備により、下層植生が繁茂し、降雨に伴う土砂流出を抑制するほか、流木の流出等による被害を防止する。

伐採後の速やかな再造林により、裸地化による水土保持機能の低下を防止する。

治山ダムや山腹工により土砂や流木等の流出を防止するとともに保安林の整備により、森林の水源涵養機能や洪水緩和機能等を発揮させる。

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	森林の整備・保全、治山施設の整備	森林整備による流出抑制対策等	宮崎県	▶		

川内川水系流域治水プロジェクト

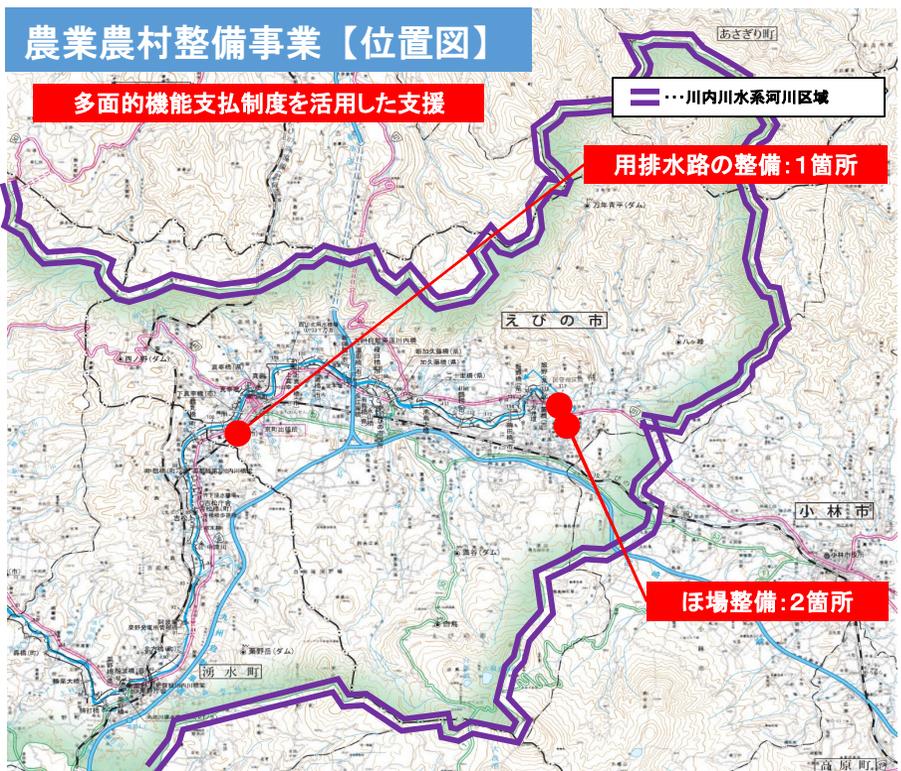
～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

雨水貯留施設の検討・整備(ほ場整備等による機能向上等) 【宮崎県】

農業農村整備事業を計画的に実施し、農業の多面的機能を発揮

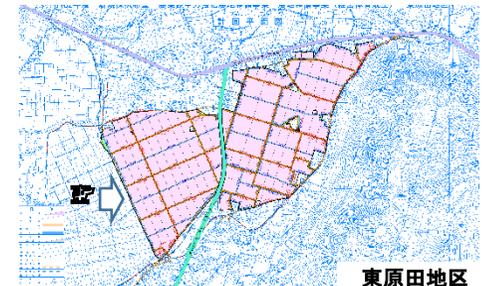
- ほ場整備により農地の区画拡大を実施する中で排水柵(ます)や排水路を整備し、水田がもつ貯留機能を向上
- 用排水路を整備することで山腹からの雨水をスムーズに排水し、周辺地域の被害を軽減

農業農村整備事業【位置図】



実施内容	受益面積	地区名	備考
ほ場整備	58.0ha	東原田、飯野麓東部(R5)	R2～
用排水路整備	38.6ha	亀沢 (R5)	R5～

(※R3事業管理計画より)



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	流域の雨水貯留機能の向上	雨水貯留施設の検討・整備	宮崎県			

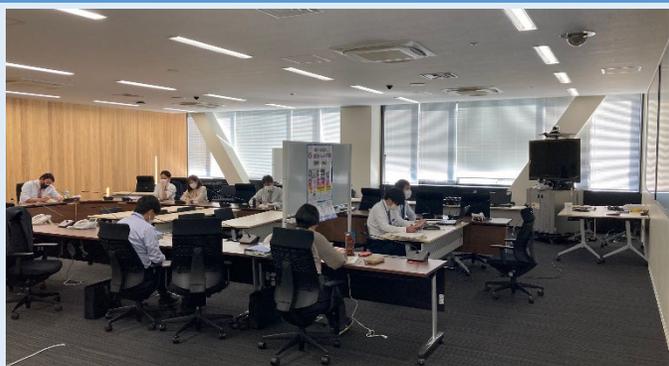
川内川水系流域治水プロジェクト

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

要配慮者利用施設管理者を対象とした避難確保計画作成に係る支援の取組み【宮崎県】

- 要配慮者利用施設管理者への支援として、県関係各課職員等が講師となり、**避難確保計画作成に係る講習会（オンライン方式）を開催**。（令和3年11月：県内全域を対象，271施設が参加）
- 講習会では、法改正内容や水害・土砂災害リスク等の避難確保計画作成の必要性や、避難確保計画作成のポイント等について、詳しく解説した。

開催状況(R3.11.15)



宮崎県 要配慮者利用施設の 避難確保計画作成に係る講習会

日時 令和3年11月15日(月) 14:00~16:00
オンライン方式

2. 水防法について ～法改正の経緯～

平成27年 水防法の改正

- 想定最大規模の洪水・雨水出水・高潮の浸水想定区域図の作成（区域指定、公表）
- ※宮崎県内
国土交通省：13河川
宮崎県：35河川

平成29年 水防法の改正

- 介護老人保健施設で入居者が亡くなる被害が発生
- 防災情報が要配慮者利用施設の管理者に十分理解されていない。
- 水害に対する避難確保計画の作成や避難訓練が十分に実施されていない。

→ 要配慮者利用施設の**避難確保計画作成の義務化**
避難訓練実施の義務化

令和3年 水防法の改正

- 中小河川の洪水浸水想定区域の作成（宮崎県管理河川：4.76河川）
- 避難の実効性を確保する
- 施設管理者は、**市町村に避難訓練の報告を義務化**
- 市町村は、**施設管理者へ助言・助告**

説明資料(抜粋)

【別紙1】避難経路図【どこに避難するか】を考える

避難先検討時のポイント

- 避難先は浸水や土砂災害リスクがないところへの【立ち退き避難を基本】としましょう。
- 立ち退き避難を検討した上で、避難する方が利用者等の命に却って危険を及ぼしかねない判断する場合は**屋内安全確保**（上階階への避難）等、命が助かる**可能性の高い避難行動**を検討して下さい。

留意事項

- 浸水が継続することにより、**避難生活が長期化する可能性**も念頭に考えましょう。（屋内安全確保時に、期待どりに支援物資等が届かない可能性もあります。）
- 施設利用者の避難生活の環境確保の観点から、類似施設となる**援護先の施設や知り合いの施設などには有力な候補**となります。

自助施設や避難先候補、避難経路等の**安全性を確認**しながら考えましょう

浸水範囲と浸水深 継続時間 家賃相場等

重ねるハザードマップ 検索 宮崎県浸水想定区域 検索

避難行動について
立ち退き避難：その場立ち退き、指定緊急避難場所や近隣の安全な場所へ移動する**水平避難**。
屋内安全確保：**重畳避難**（屋内の2階以上の安全を確保できる高さに移動）などで屋内に留まってる安全確保。
参考：避難行動に関するガイドライン(内閣府 R3.5.29)

2. 施設周辺の水害リスクを確認する

■洪水時の想定浸水深が表示されます。

○凡例が表示される

○解説をクリック

○地点を右クリック

○想定される浸水深が表示される

住所：高崎県高崎市場通第二丁目（付近の地形、正確な河川表示とは異なります。）
標高：5.6m（データーソース：DEM5A）
洪水によって想定される浸水深：0.5m～3.0m(想定最大規模)

3. 各様式の目的と作成・検討時のポイント【総括】

様式	様式の目的	作成・検討時のポイント	チェック
様式1	計画の目的等を整理する	別添資料「避難確保計画（記載欄）」を基本とする。	<input type="checkbox"/>
別紙1	避難先・避難経路を整理する	安全な場所を避難先・経路とする指定を基本とする。必要な場合には重畳避難も検討する。	<input type="checkbox"/>
様式2	「いつ」「何」の行動を「だれが」行うかの対応を整理する	施設毎の避難の必要時間を踏まえて、時間割に対応するきっかけ(トリガー)を設定する。	<input type="checkbox"/>
様式3	情報収集先・伝達方法を整理する	必要な情報収集先を追加する。	<input type="checkbox"/>
様式4	避難先を整理する	経路や移動した避難先を整理する。移動距離と手段を考慮し、移動に必要な時間を想定する。	<input type="checkbox"/>
様式5	備品等を整理する	避難確保時に加え、避難先での滞在(避難生活)に必要な備品を整理する。	<input type="checkbox"/>
様式6	自衛水防組織を位置付ける	別添資料「避難確保計画（記載欄）」を参照する。	<input type="checkbox"/>
様式7	防災教育・訓練の計画を整理する	避難訓練は出発時刻に実施する。既定した日程を様式9(下欄)に反映する。	<input type="checkbox"/>
様式8	利用者の緊急連絡先を整理する	連絡先の情報は定期的に確認・更新する。	<input type="checkbox"/>
様式9	職員・保護者の連絡体制を整理する	連絡が途切れないような運用ルールを工夫・共有する。定期的に更新(確認)する。	<input type="checkbox"/>
様式10	外部機関の連絡先を整理する	必要な連絡先を追加する。	<input type="checkbox"/>
様式11	利用者の特性を踏まえ、避難先までの移動手段と対応方法を整理する	避難・移動のための職員体制を検討する。避難行動に必要な関係機関を整理する。	<input type="checkbox"/>
様式12	災害時の役割分担を整理する	職員の手配がうまくいかない場合も想定する。様式2を活用する。	<input type="checkbox"/>
別表1	自衛水防組織の概要を整理する	別添資料「避難確保計画（記載欄）」を参照する。	<input type="checkbox"/>
別表1	防災体制を整理する	様式2を活用する。	<input type="checkbox"/>
別表2	備品を整理する	様式5を活用する。	<input type="checkbox"/>

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災学習の推進	出前講座・防災学習の実施	宮崎県			

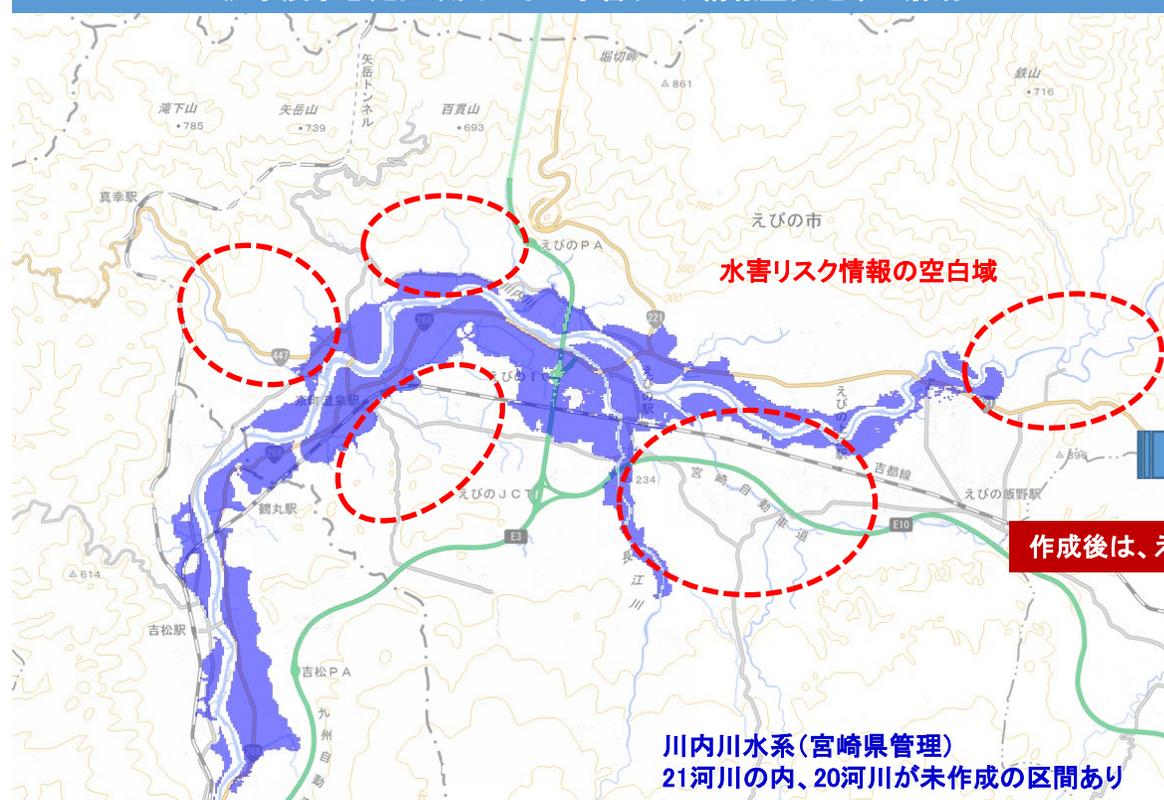
川内川水系流域治水プロジェクト

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

未策定区間の浸水想定区域図作成 【宮崎県】

- 洪水浸水想定区域図の未作成河川について、令和7年度までに浸水想定区域図を作成し、水害リスク情報空白域を解消していく。
- 作成した洪水浸水想定区域図データを提供する。

洪水浸水想定区域図のない水害リスク情報空白地帯の解消



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地のリスク情報の充実・提供	未策定区間の浸水想定区域図作成	宮崎県	▶		

川内川水系流域治水プロジェクト

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

出前講座・防災学習の実施 【宮崎県】

○宮崎県では、土砂災害から命を守るための啓発活動の充実を図るため、県内各地で地域防災の中心的な役割を担う自治会長等を対象にした「土砂災害防止講座」を実施している。
○今年度は、えびの市にて講座を開催し、64名の参加があった。

出前講座の内容

8-1. どこが危ないのか 18

- 1 土砂災害危険箇所
- 2 土砂災害(特別)警戒区域

8-2. いつ危ないのか 22
8-2-1. 気象情報・避難情報

8-3. どうすればよいのか(1) 26
8-3-1. ハザードマップを確認しよう

土砂災害から身を守るための対応を3つのポイントに分けて説明

8-3-4. 避難の心得 30

【大原則】 早めの避難

- ①指定緊急避難場所へお近くの指定避難所へ早めの避難
- ②早めの避難ができなかったら...
 - ①大雨等により移動が危険な状況では
 - 近隣の校舎コックポイント等の建物
 - ②緊急的な避難場所
 - ・自らの判断で近くの頑丈な建物等に緊急的に避難することもあり得る
 - ③外出し危険な状況では
 - ・【屋内における安全確保(垂直避難)】
 - ・自宅内の上層階で山からできるだけ離れた部屋に移動

早期の避難は命を救う！(実例) 31

【災害発生前】 迅速な避難により人的被害がなかった事例 (H17台風14号・宮崎県日之影町)

【災害発生後】 53人が小学校に避難

【2019年キャッチフレーズ】 国土交通省 砂防部

「避難の声かけ、安全の確認」

今年度の「土砂災害・全国防災訓練」(概ね6月に実施)では、昨年の災害で地域の住民や家族が声をかけあつて避難が進んだ事例が各地で報告されていることから、地域内での声かけにより避難する取り組みや、安全を確認する訓練を重点的に実施する予定です。

避難の方法などについて実際の災害事例を踏まえて説明



土砂災害防止講座 実施状況写真 (R3.6.7)

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災学習の推進	出前講座・防災学習の実施	宮崎県			

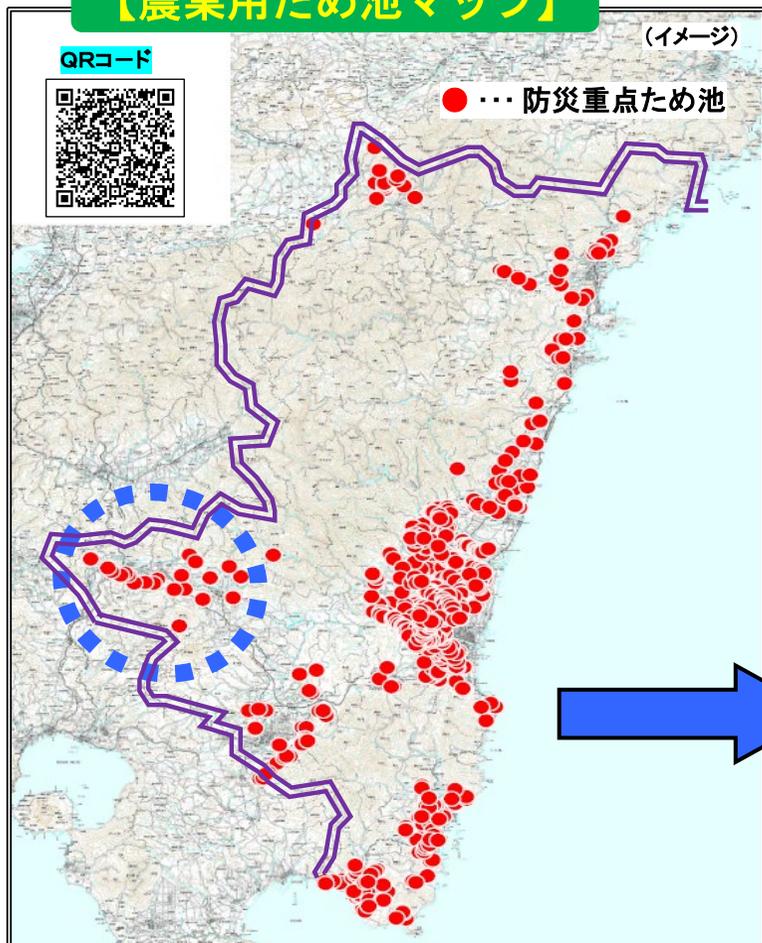
川内川水系流域治水プロジェクト

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

ため池マップの公表

【宮崎県】

【農業用ため池マップ】



農業用ため池マップの公表について

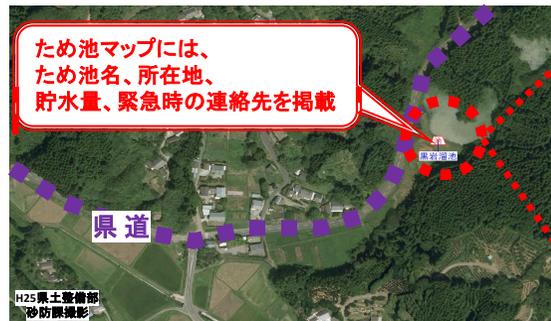
【経緯】

今後のため池対策の進め方に基づく緊急時の迅速な避難行動につなげる対策のひとつとして、ため池の位置等を住民に知っていただくため、宮崎県内の防災重点ため池マップを作成。

【防災重点ため池とは】

決壊した場合の浸水区域に家屋や公共施設等が存在し、人的被害を与えるおそれのあるため池。

(令和3年4月末時点)	
農業用ため池の総数	うち、防災重点ため池
657箇所	410箇所



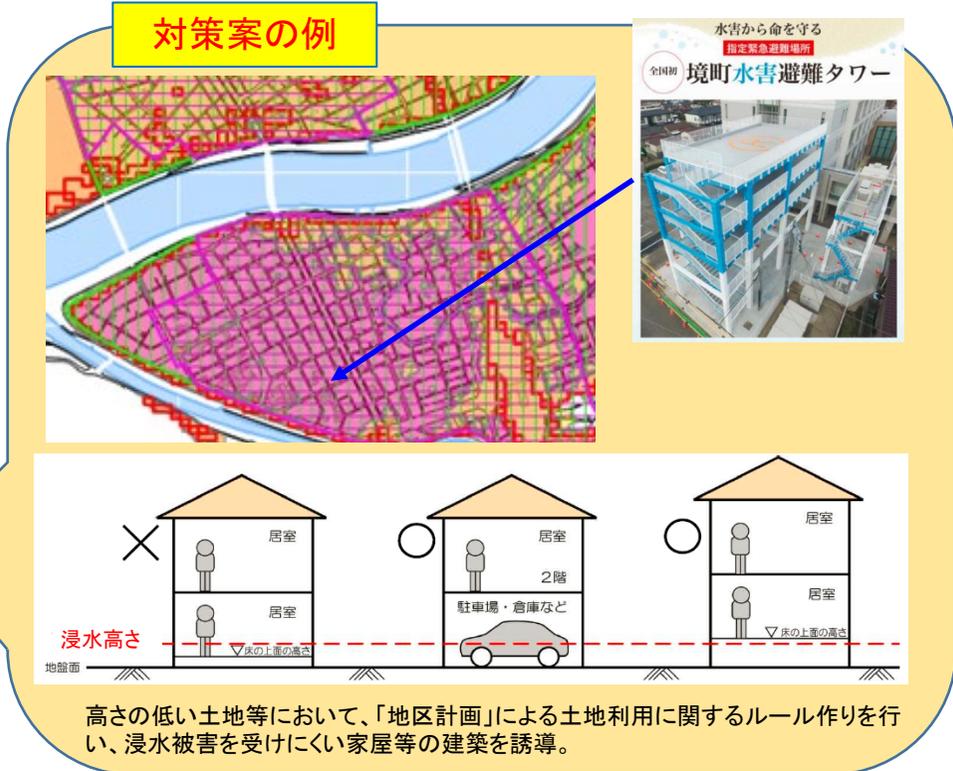
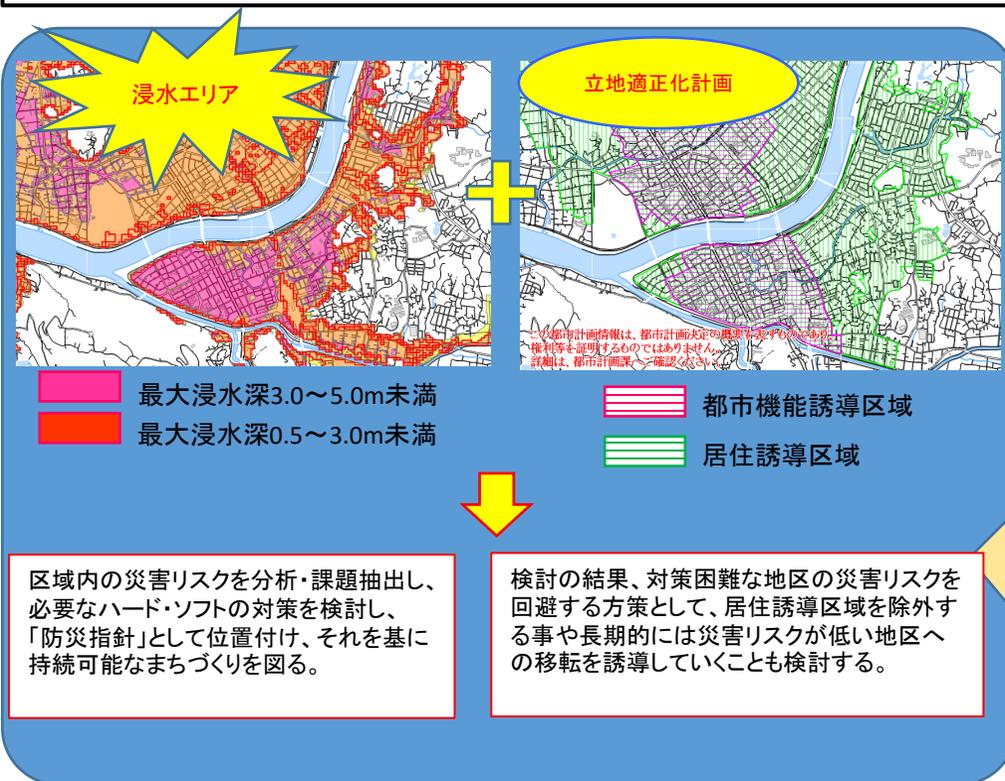
区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地のリスク情報の充実・提供	ため池マップ公表	宮崎県	▶		

川内川水系流域治水プロジェクト

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

災害リスクを考慮した立地適正化計画の策定・見直し 【薩摩川内市】

- ・立地適正化計画へ災害リスクを考慮した、防災まちづくりの将来像や目標等を明確にする「防災指針」を位置付けるための検討を実施していく。
- ・災害リスクを軽減又は回避するための対策案として、「地区計画」によって土地利用に関するルール作りを行うことや、周辺に高台がなく避難が困難な地区については垂直避難施設を設置することも含め検討。



※対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害対象を減少させるための対策	リスクの低いエリアへ誘導／住まい方の工夫	災害リスクを考慮した立地適正化計画の策定・見直し	薩摩川内市			

川内川水系流域治水プロジェクト

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

関係機関における防災情報連携の強化(防災情報HPの充実、情報の一元化等) 【薩摩川内市】

○ 災害情報発信の強化

●令和3年8月13日 配信開始
 登録目標：令和3年度10,000人
 令和4年2月14日：10,383人登録

薩摩川内市公式LINE できました

スマートフォンで無料に防災情報をアクセスできるLINEの公式アカウントができました。主なメリットを3つご紹介します！

- メリット①** 分かりやすいメニュー機能
- メリット②** 正しい情報をプッシュ通知でお届け
- メリット③** 音楽や音声を活用し、迅速にアクセス

お友達追加方法

- 「お友達追加」のアイコンをタッチ
- QRコードかQRコードのアイコンをタッチ
- QRコードをカメラで読み取る
- 通知で登録完了

または「友だち検索」からID入力でも登録できます @satsumasendai.city



●関係機関15HP公表

大雨に伴う「避難指示」の発令について

鹿児島地方気象台により、本土地域に土砂災害警戒情報が発表されました。

本市では、4時20分に本土地域に「避難指示」を発令しました。

大雨による低い土地の浸水、河川の増水・氾濫、土砂災害に嚴重に警戒し、市の指定避難所のほか、安全な自宅や親戚・知人家など、安全に十分注意して全員、避難してください。

vacan.com/area/satsumasendai-city-evacuation/evacuation-center/9

8月11日からの大雨による災害対策速報について、ホームページに新着掲載しましたので、お知らせします。

<https://www.city.satsumasendai.lg.jp/www/genre/1207708972643/index.html>

8月11日からの大雨による災害対策について、鹿児島地方気象台から、甑島地域に発表されていた「土砂災害警戒情報」が解除されたため、甑島地域の「避難指示を解除」。なお、本土地域は避難指示継続中です。

●令和3年6月3日「VACAN」避難所空き情報発信 (191箇所)

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	関係機関における防災情報連携の強化(防災情報HPの充実、情報の一元化等)	薩摩川内市			

川内川水系流域治水プロジェクト

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

身近な公民館等に避難する仕組みづくり(自主避難態勢の整備・強化) 【さつま町】

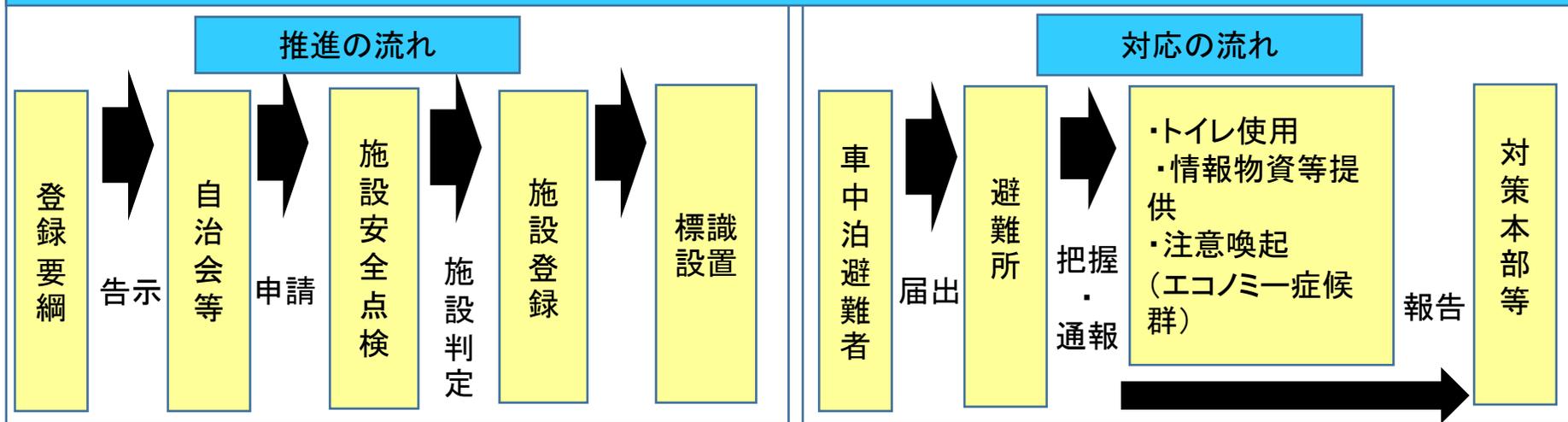
① 届出避難所の推進

事前に予期困難な線状降水帯発生による避難及び町が発令する避難指示等の有無に関わらず、住民が安全で身近で避難容易な施設を自治会及び自主防災組織が自らの判断で開設する、「届出避難所」の推進

② 車中泊避難者への対応

コロナ感染拡大による3密回避、また地震の余震をおそれ、やむを得ず避難所内に避難することが出来ない「車中泊避難者」に対応するため、町の指定避難所の駐車場利用に努めて頂くことにより、トイレ使用の他、浸水等被害情報提供、必要な生活関連物資の提供等に配慮する。

地域防災計画へ反映



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	地域住民における自主防災組織等の強化	さつま町			

川内川水系流域治水プロジェクト

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

川内川水系流域に住む外国人向け防災教室 【さつま町】

●目的

- ・さつま町の災害の特徴や外国人への情報伝達を学ぶ。
- ・在住外国人へ防災教育を実施することで能力の向上を図り、防災意識の高揚を図る。

●時期

- **基礎講座** 令和3年10月31日(日)

内容: 日本とさつま町の災害、防災バックについて、段ボールベッドの作成

- **実践チャレンジ** 令和3年11月7日(日)

日本人と一緒にさつま町のハザードマップ確認、防災に役立つ工作体験等



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災学習の推進	川内川水系流域に住む外国人向け防災教室	さつま町			

川内川水系流域治水プロジェクト

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

総合的な内水対策の検討 【伊佐市】

大雨時に内水氾濫が発生する地域の樋門付近に緊急内水対策車配備及び水中ポンプを設置し、内水を汲みあげる事で内水氾濫を防止する。

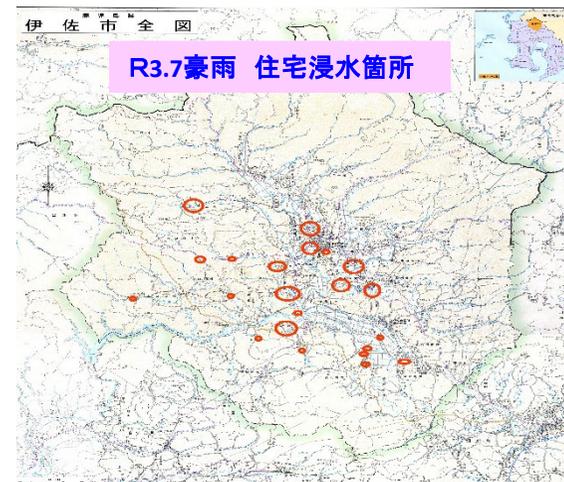
《国》緊急内水対策車配備状況



《市》ポンプ設置状況



内水氾濫状況



《国》緊急内水対策車排水状況



《市》ポンプ排水状況



	国(要請)		市					
	配備箇所	緊急内水対策車	設置箇所	10吋ポンプ(市所有)	8吋ポンプ(リース)	発電機(リース)	設置・撤去委託	ポンプ操作員
令和3年度	(3)	(3)	9	7	12	14	業者	職員及び一部業者
令和4年度	(3)	(3)	15	10	22	23	業者	職員及び一部業者
増減	0	0	6	3	10	9		

具体的内容

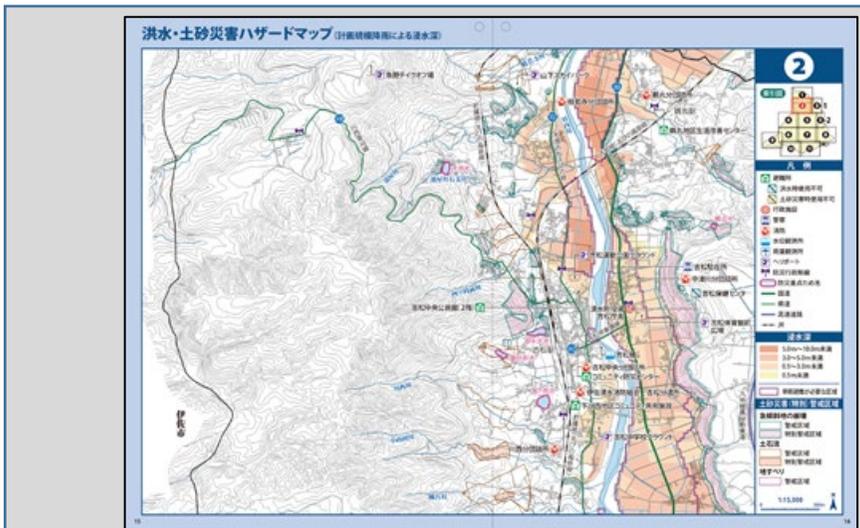
大雨時に河川の水位が上昇すると、河川から水路への逆流防止のため水門閉操作をする事により内水が河川に流れず内水氾濫が発生する。そこで、樋門付近に緊急内水対策車配備及び内水対策用ポンプを設置し、水門閉操作時にポンプを稼働させ内水を河川へ流し内水氾濫を防止する。

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害対象を減少させるための対策	氾濫域での対策	総合的な内水対策の検討	伊佐市			

土地のリスク情報の充実・提供 【湧水町】

湧水町防災マップの作成

平成27年度の作成から5年以上経過。近年の多様化・長期化する災害に対応するべく、防災学習のページを充実。いざというときに携行しやすいよう、A4判冊子タイプで作成。
 防災マップの配布で終わらせるのではなく、自らの災害リスクを知り、どのタイミングで、どのような避難行動が必要かを日常的に考えることができるよう、「マイタイムライン」を掲載。



ハザードマップ

警戒レベルと状況	警戒レベル1 今後気象状況悪化の恐れ	警戒レベル2 気象状況悪化	警戒レベル3 災害の恐れあり	警戒レベル4 災害の恐れ高い	警戒レベル5 [※] 災害発生又は切迫
住居が取るべき行動	災害への心構えを高める	自らの避難行動を確認する	危険な場所から高齢者等避難 [※]	危険な場所から全員避難	命の危険直ちに安全確保 [※] (町が発令)
避難情報等	早期注意情報(気象庁) 注意警報(気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報(気象庁)	高齢者等避難 [※] (町が発令)	避難指示(町が発令)	緊急安全確保 [※] (町が発令)
警戒レベル相当情報	▼避難する目安(2)のチェックを入れる	▶注意注意情報	▶警戒レベル3相当 ▶注意警戒情報	▶警戒レベル4相当 ▶注意警戒情報	▶警戒レベル5相当 ▶注意警戒情報
緊急情報	大雨の発出(気象庁)や土砂災害警戒区域(国土交通省)の発令(気象庁)により、警戒レベル5に引き上げられた場合、命の危険を感じるような大雨が降る可能性がある。				
あなたの行動を記入	「避難する行動」を参考に、警戒レベルごとの「あなたや家族の行動」を書き出しましょう。				
推奨する行動	●災害への心構えを高める ●平時からの災害準備を確認する ●家族の防災意識を高める ●避難経路を確認する ●避難場所を確認する ●避難物資の準備				

マイタイムライン

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地のリスク情報の充実・提供	ハザードマップ作成	湧水町	R3作成		

川内川水系流域治水プロジェクト

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

地域住民における自主防災組織等の強化 【えびの市】

【取り組みの内容】

- えびの市では、市内各地区の自主防災組織と連携して防災訓練等を実施し、防災知識の普及・啓発に取り組んでいる。
- 避難訓練や災害図上訓練等の防災訓練を通して、地域の特徴や危険箇所を把握し、洪水・土砂災害等に関する防災意識の向上を図っている。また、防災講座により防災に対する理解と関心を深め、地域防災力の向上に繋げている。

○避難訓練

防災行政無線による緊急避難放送で自治会員へ避難を呼びかけ、その後、各班長が避難してきた自治会員の安否確認を行った。また、避難行動要支援者の協力者による避難要領の確認を行った。



南岡松自治会

○災害図上訓練

普段気付かない地域の特性等を図面上で確認することにより、今後の自主防災活動及び日常生活の中で、災害発生時、取るべき行動等について確認を行った。また、災害時支援を必要とする方への対応について検討を行った。



加久藤麓自治会

○防災講座

市内の近年の災害状況及び、自主防災組織の必要性と活動内容について講話を行った。



西郷自治会



前田自治会

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	地域住民における自主防災組織等の強化	えびの市			